

焼津市教育 ICT 利活用推進計画（2.0版）について

焼津市教育委員会 教育部 GIGA スクール推進室「きどう」

1. 本市立小・中学校における ICT 利活用の現状

昨年度、焼津市教育 ICT 利活用推進計画（1.2版）に基づき、教職員の ICT 利活用率の向上を目指し、教育委員会及び学校現場において様々な取組を行ってきた。その成果として、市内全校において授業での Chromebook の活用が進んできた。**図1 図2**

その一方、アンケート結果の分析等により以下のような課題が明確になってきた。

- ① 多くの学校で ICT の利活用率が向上した一方、「活用が停滞している学校」や「活用していない教員」が一定数存在する。
- ② 活用していない、又は活用が少ない教員は、教員自身が授業で ICT を活用するための基礎的な知識・技能を十分身に付けられていないと感じている。
- ③ 教員の授業における Chromebook の利活用率は全体的に向上したが、本来の目的である「児童生徒の情報活用能力」がどの程度身に付けられているかを計測できていない。
- ④ 端末が導入され4年目となるため、「活用する機会を増やす」ことから、「効果的に活用する方法を研修する」段階に入る必要がある。

これらの課題を解消するために、教育 ICT 利活用推進計画を2.0版に改訂し、令和5年度に実施することとした。

図1 現在のChromebook利活用の状況（2023年5月 児童生徒アンケート）

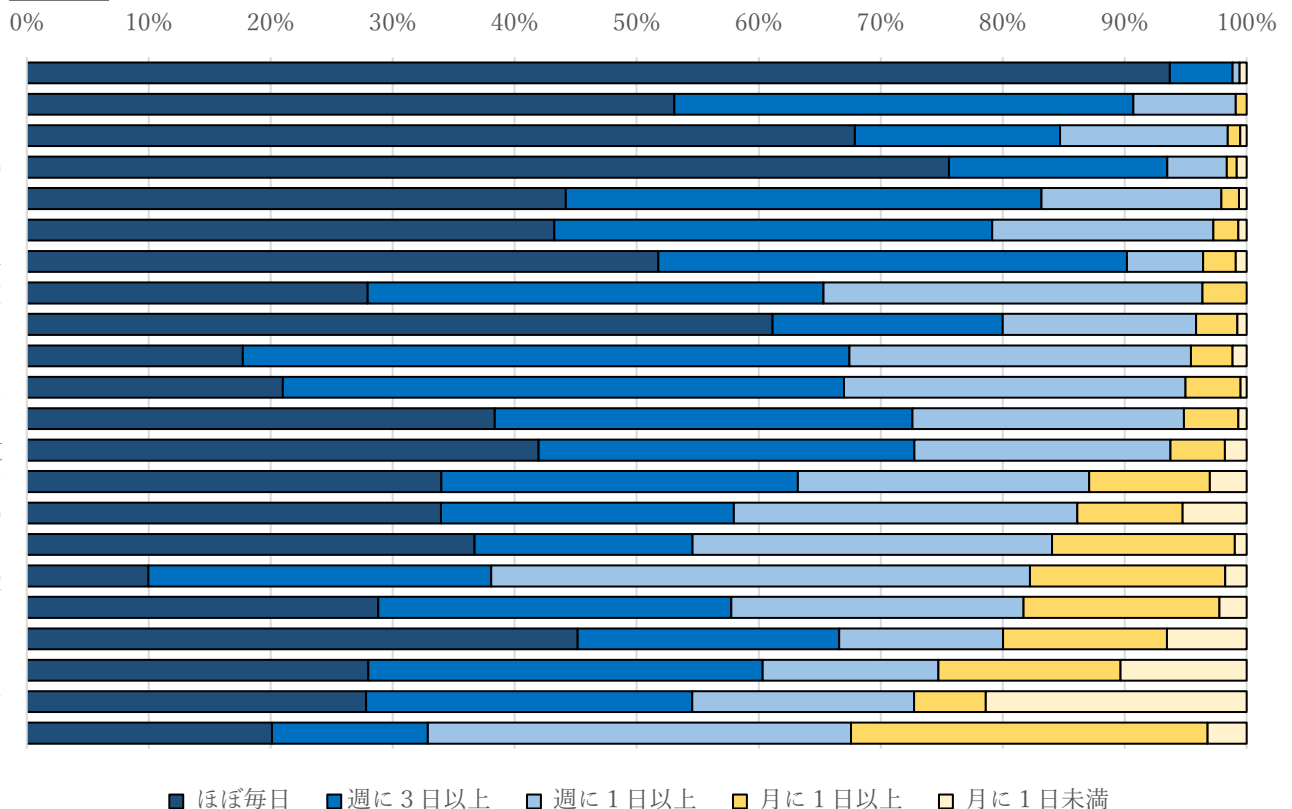
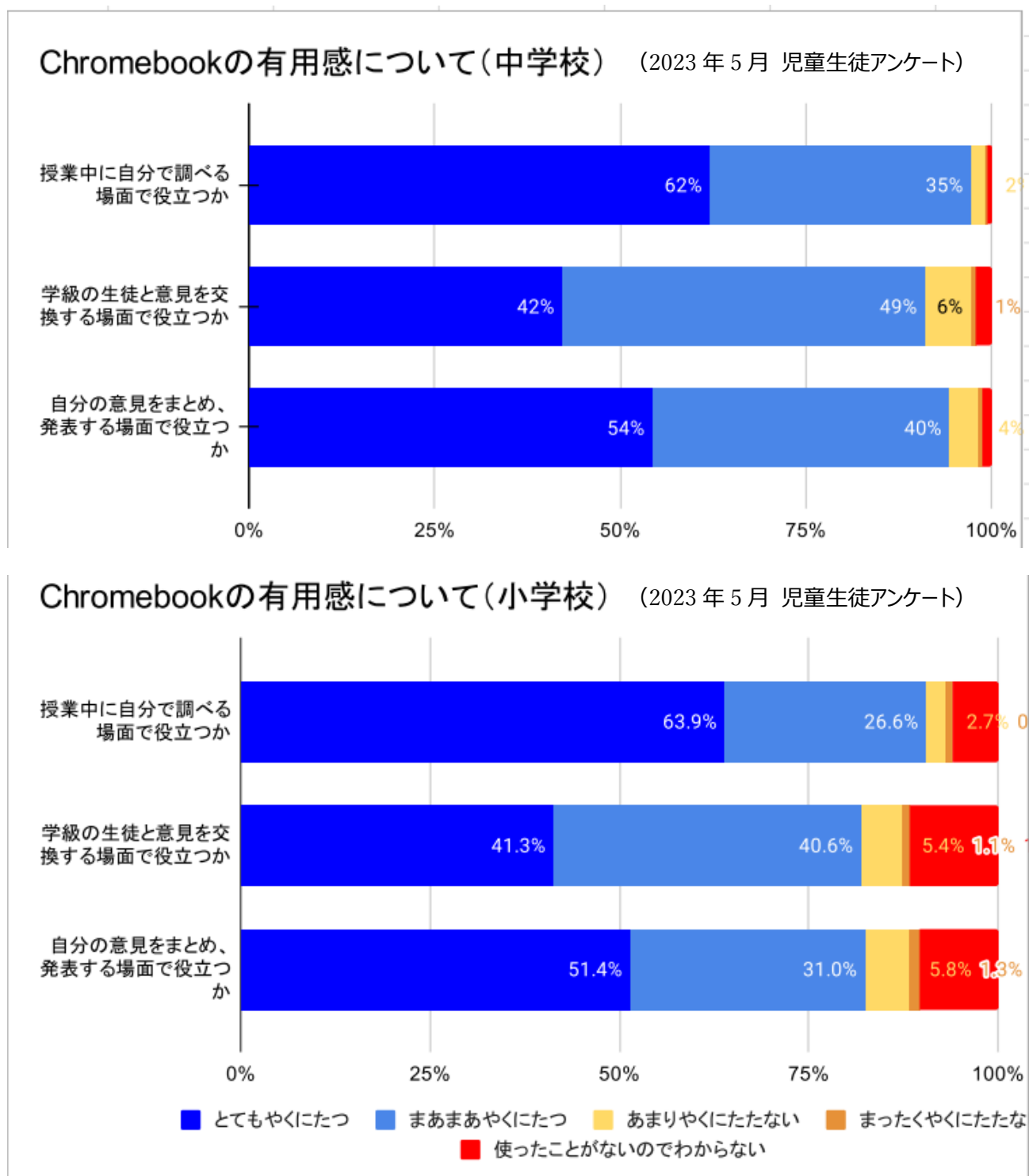


図2 Chromebook の有用感について



2. 教育 ICT 利活用推進計画（2.0版）の改訂点について

(1) 目標設定

これまでの「ICT 利活用のあるべき姿」表3に加え、昨年度までの端末活用頻度の向上から、情報活用能力の習得目標別紙1を設定し、年3回のアンケート調査により、児童生徒の実態を把握することにした。また、Chromebook 活用スキルチェック表別紙2を提示することで、市内全体として端末活用の状況に差が生じないようにした。

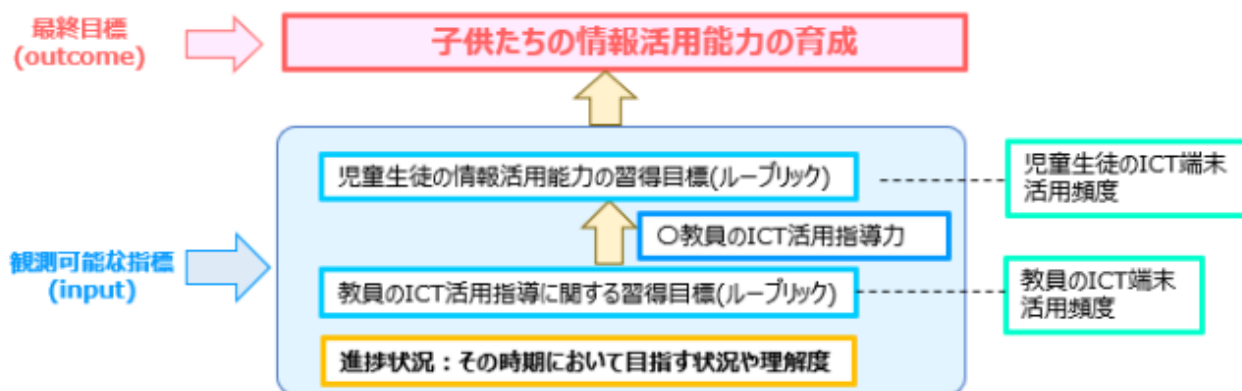


表3 ICT利活用のあるべき姿

2023年度前期 (2023.9末)	<ul style="list-style-type: none"> ● 普段の教室を回ると、多くの教室で学習者用端末が活用されている ● 家庭学習で、ICTが利用されている □ 多くの教員が、授業を中心とした学校生活で積極的にICTを活用している □ 保護者との連絡や校内における職員の連絡等で、ICTが多くの場面で活用されている
2023年度後期 (2024.3末)	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習系クラウドを活用して、児童生徒同士の話し合い活動や協働活動が行われている教室が増えている □ 学年ごと教科ごとのICT利活用の年間計画が完成している □ すべての教員が、授業を中心とした学校生活で積極的にICTを活用している

(2) 目標達成に向けた取組の改善

教育ICT利活用推進計画では、目標達成に向けて様々な取組を計画している。表4昨年度を取組状況やアンケート調査、ICT利活用推進計画協議会等での意見を基に、課題解決に向けて取り組みも改訂した。

① 年度当初訪問研修

セキュリティポリシーの改訂や校務用端末・校務用ネットワークの更改に備え、夏休みまでにGIGAスクール推進室が全校に訪問し、「利活用推進計画、セキュリティポリシー、持ち帰り」等について研修を実施する。

② 定期訪問

教員のChromebook活用の機会を創出するために、GIGAスクール推進室が年に2回、市内全校を訪問しChromebookを活用した授業を参観する。活用した内容については、助言を加え実践記録として校内や市内の学校に共有する。

③ ICTオンライン連絡会

教育委員会の方針を学校に伝達する場や、学校間の情報共有の場として、月に1回程度オンラインにて連絡会を行う。内容は、利活用または、機器管理に係るものとする。(事前に通知する)

④ 児童生徒情報活用能力アンケートの実施

児童生徒の情報活用能力の育成状況を測る児童生徒アンケートを5月、8月、12月に実施する。8月のアンケート結果をもとに、後期の教育ICT利活用推進計画を見直す。また、8月と12月については、教師のICT活用指導力も調査し、児童生徒と教師両面の実態を把握する。

⑤ 端末持ち帰りの推進

令和5年度より、「家庭学習の充実」「情報活用能力の育成」「学びの機会の保障」のため、市教育委員会として、児童生徒の Chromebook の家庭への持ち帰りを推奨する。本年度の冬休みには、市内全小中学校の児童生徒（小学1年生を除く）が Chromebook を家庭に持ち帰って活用できるように、学校の実態に応じて活用を進める。

表4 2023取組策一覧

取組	取組目標	No.	取組内容	実施者
必要性の理解 (取組①)	教員が ICT の必要性を理解、納得し、活用に前向きな姿勢を持つ	F1	ICT 利活用の意義を校内に浸透	校長・教頭
	ICT の有効性や利便性を実感する機会を創出する	F2	校内研修等で ICT 活用の有効性や利便性の紹介など	利活用リーダー
ステップアップ (取組②)	教員の基礎的な ICT 利活用スキルや ICT 活用指導力、セキュリティに関するリテラシーの向上	S1	校内利活用推進体制の確立	校長
		S2	年度当初訪問研修 (セキュリティ、利活用、持ち帰り)	市教委
		S8	みらい講座の実施 (初級だけでなく、中上級者向けも開催)	市教委 利活用リーダー
		S9	新規、転入職員向け GWS 研修会	市教委
	ICT 活用機会の創出	S3	定期訪問 (実践については市内へ情報共有)	市教委
	利活用リーダーのスキルアップ	S4	利活用リーダー研修会 オンライン連絡会の実施 (月 1 回)	市教委
	実践事例やアプリで作成した資料を共有し、活用頻度を向上させる	S5	情報共有サイト (教材図鑑)	教員相互 市教委
	困りごとや悩みへの相談体制	S6	オンライン GIGA 相談室	市教委
			利活用リーダー-Chat	校内リーダー
	校務処理における積極的な活用	S7	保護者との連絡や校内での職員の連絡等での活用の推進	教頭・各リーダー
目標設定 (取組③)	目標確認、進捗管理	N1	目標の設定、常時進捗確認	各教員
	目標設定、進捗管理	N2	活用進捗モニタリング	市教委
その他	教員の活用意識を維持した管理	K1	校内における機器管理	機器管理リーダー
	機器管理リーダーのスキルアップ	K3	機器管理リーダー研修会 (アカウントの設定方法、デジタル教科書等)	市教委
	充実した環境整備	K2	ICT 環境整備、運用管理	市教委

3. セキュリティ環境の強化

(1) セキュリティポリシーの改訂

GIGA スクール構想が推進され、教師や児童生徒に学習用アカウントが付与されるなど、現セキュリティポリシーではリスクへの対応が不十分な状況にあった。そのため、令和4年度に文部科学省の「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」に基づき、新セキュリティポリシーの改訂を行った。本年度は安全・安心な環境で ICT 活用ができるよう、その内容理解について浸透を図る。

①情報資産の分類と情報資産台帳の作成

焼津市共同学校事務室が作成している「文書分類一覧表」をもとに、重要性分類や保管場所等を示した「情報資産台帳」表5を作成した。

表5 焼津市情報資産台帳

分類番号			個人情報	小分類項目	説明	綴じ込まれる文書名等	重要性分類	アクセス権限	情報取扱管理者	媒体区分		保管場所		保存年数
大分類	中分類	小分類								データ	紙	データ	紙	
0 経 営	1 総 括	0		例規	学校に関する法律、 学則通達等で事務処理の基準となるべき文書、処務規程（取扱要領も含む） （中分類により分冊可、保存分は年度毎綴る） ※処務規程（取扱要領も含む）は継続保存 それ以外の文書は10年保存		Ⅲ	教職員	教頭	○	○	校務系クラウド	施錠棚または施錠した部屋	10 継
		1		認可・指令	認可及び指令書（特別支援学級、食中毒等）		Ⅲ	教職員	教頭	○	○	〃	〃	永
		2	☆	学校沿革誌	学校設置廃止等、学校施設、財産、重要行事、教職員、学校基本編成、修卒業生、PTA後援会等の特記事項		Ⅲ	教職員	教頭	○	○	〃	〃	永
		3		校内規定	学校施設使用規定、展覧規定、校内規定等	○交通安全促進会	Ⅲ	教職員	教頭	○	○	〃	〃	継
		4		関係団体規約	教育会館、教育研究会、教育協議会、P連等規約、PTA、学校後援会、同窓会等の会則	○規約のみ取り出しファイル 他は2-10-5「教育研究会」、0-5-1「PTA」へ	Ⅲ	教職員	教頭	○	○	〃	〃	継
	2 組 織	1	☆	職員名簿	職員名簿及び関係名簿	○緊急連絡網	Ⅱ	教職員	教頭	○	○	校務支援システム又はPortal	施錠棚	5
		2	☆	学級編制表	学級編制表、特別支援学級調査表等	○特別支援学級調査表 ○長期欠席者名簿 ○入院中の病気療養者に関する調査 ○学級編制実施調査表 ○通級指導調査表 ○中学校進学予定者数 ○特別支援学級再設に関する資料 ○学級編制のための転出調査（校内） ○公立小中学校児童生徒数・学級数調べ・学級編制に関する調査	Ⅱ	校長/教頭/教職員	校長	○	○	校務支援システム又はPortal	施錠棚	5
		3	☆	消防・防災計画	消防、防災計画、防火管理者届、緊急連絡網、防犯対策	○不審者侵入対応マニュアル ○避難地、避難所運営マニュアル	Ⅲ	教職員	教頭	○	○	校務系クラウド	施錠棚または施錠した部屋	5

②情報資産の取扱いや端末の運用についての遵守事項の明示

重要性分類によって異なる情報資産の取扱いに関する内容や、情報を扱う端末についての運用等について教職員の遵守事項を明示し、重要性の高い情報について安全な環境で扱うようなルールを設定した。

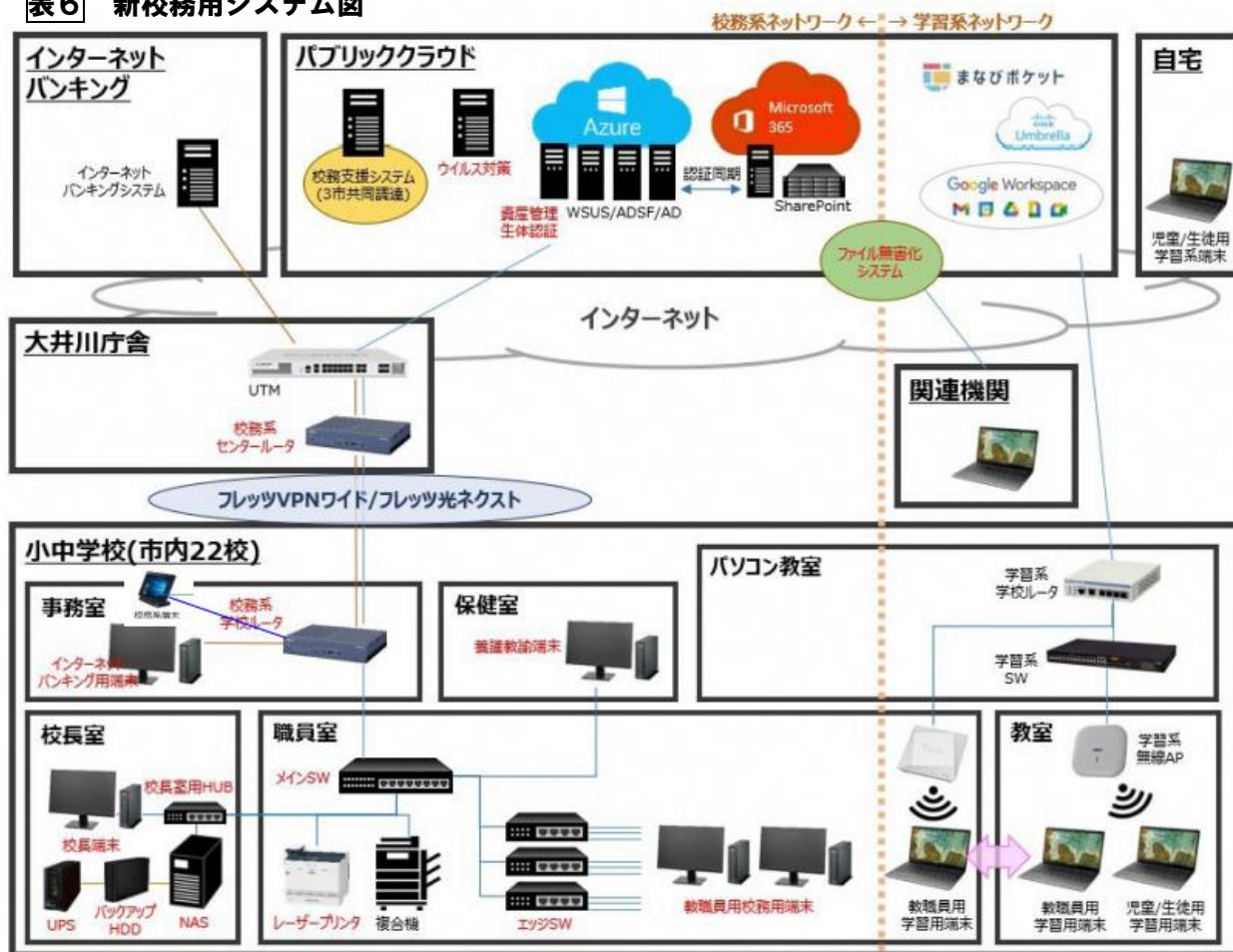
③アカウントの使い分け

Chromebook で扱う Google アカウントについて、セキュリティを高める観点から、教職員の情報共有等で使用する校務用アカウント（t アカウント）と児童生徒と情報を共有する学習用アカウント（s アカウント）を使い分ける運用を開始した。

（2）セキュリティを担保できる校務用端末及び校務用ネットワーク更改に向けての協議

新セキュリティポリシーの適用による安全を担保しつつ、教職員の使い勝手や働き方を阻害しないような新システム表6の導入に向けて検討する。各方面からヒアリングを行い、安全な環境下で業務を遂行できるように、市内教職員に情報を共有する。

表6 新校務用システム図



4 今後の課題

(1) 情報モラル、情報セキュリティ教育の充実

児童生徒の情報活用能力の目標にも「情報モラル」「情報セキュリティ」に関する内容が含まれているが、現状は学校の裁量で指導を行っており、定着に差が生じている。市として年間指導計画等を提示し、市内全小中学校児童生徒に、一定の情報モラルや情報セキュリティ教育を進める必要がある。

(2) 故障や破損に伴う Chromebook の予備機

本年度より児童生徒による Chromebook の家庭への持ち帰りが本格的に始まった。ただし、それに伴って故障や破損の報告が増えることが予想される。現在、教育委員会では60台ほどの予備機を確保しているが、令和4年度の実績をみると、不足することが予想される。

(3) 特別教室の Wi-Fi 環境

昨年度、普通教室、理科室、技術室に加え、職員室と体育館に Wi-Fi の環境が整った。これにより、セキュリティ上の安全確保や、行事等による ICT の利活用がより一層進むことが予想される。一方、音楽室や図工・美術室、家庭科室、図書室等には、Wi-Fi 環境がなく、特に、中学校技能教科の教員からの、特別教室への Wi-Fi 敷設の要望が強い。

別紙 1

児童生徒の利活用目標

		小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校
基本的な操作	文字入力	小学1・2年 手書き入力・音声入力・かな入力	小学3年 ローマ字入力 20文字/分 小学4年 ローマ字入力 30文字/分	小学5年 ローマ字入力 40文字/分 小学6年 ローマ字入力 50文字/分	中学1年 ローマ字入力 60文字/分 中学2年 ローマ字入力 70文字/分 中学3年 ローマ字入力 80文字/分
	ファイルの呼び出し、保存	ファイルの呼び出し、保存ができる	必要なファイルを検索で見つけることができる	ファイルやフォルダの管理、データの保存、移動、コピー、削除などができる	ファイルやフォルダをミスなく目的通りに共有することができる
	端末の操作	起動、ログイン、シャットダウンができる タッチパネルの操作ができる	キーボード入力ができる 半角/全角の切り替えができる タッチパッドの操作ができる	ショートカットキーを使った操作ができる (コピー、貼り付け、切り取り等)	画面キャプチャ、ウィンドの整列、画面の最大化ができる
	アプリの操作 (別紙2参照)	小学1年 活用レベル1 小学2年 活用レベル2	小学3年 活用レベル3 小学4年 活用レベル4	小学5年 活用レベル5 小学6年 活用レベル6	目的に応じて、各アプリを自分で選択して活用することができる
問題解決・探究における情報活用	整理	絵や図、簡単な表等を用いて情報を整理できる	図や表、グラフ等を用いて情報を整理できる	目的に応じて、適切な表やグラフを用いて情報を整理できる	目的に応じて、適切な表やグラフを用いて情報を統計的に整理できる
	取捨選択	課題解決に役立つ情報を選ぶことができる	課題解決に役立つ情報を選んだ根拠を説明することができる	信頼性や信憑性を考えて情報を取捨選択することができる	重要度や代表性を考慮して情報を階層化する(まとめる)ことができる
	表現	文字や写真を用いて、自分の考えを表現できる	伝えたいことに応じて表現を工夫できる	文字や写真、動画等の複数のメディアを組み合わせて表現を工夫できる	色彩やフォント、映像・音響効果などメディアの特性を理解して表現を工夫できる
情報モラル 情報セキュリティ	情報セキュリティについての理解	ID、パスワード等の安全管理について理解することができる	なりすましやウイルス等の危険性を理解することができる	情報セキュリティの重要性を理解することができる	情報セキュリティを確保するための方法を理解し、活用することができる
	情報モラルに配慮し、情報を活用する力	自他の情報や作品を大切にすることができる	個人情報保護の大切さを知り、著作権や肖像権に留意して情報を扱うことができる	SNS等の情報の送受信で起きる問題を理解し、それに対応することができる	情報の保護や取扱いに関する法律に基づき、他人や社会への影響を考慮して適切に管理できる
	責任をもって適切に情報を扱おうとする態度	コンピューター等を利用するときの基本的なルールを理解し、それらを守ることができる	情報をやり取りする場合のルールやマナーを理解し、それらを守ることができる	通信ネットワーク上のルールやマナーを理解し、それらを守ることができる	情報社会は互いに法律やマナー等を守ることによって成り立っていることを理解し、それらを守ることができる

Chromebook 活用スキルチェック表

活用レベル		レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	レベル6	
カメラ		<ul style="list-style-type: none"> 写真や動画を撮り見ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 写真を撮り、ペンツールで文字等を書き込むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> カメラで写真や動画を撮りドライブに保存できる。 QRコードを読み取りアクセスできる。 	<ul style="list-style-type: none"> カメラで撮影した画像や動画をほかのアプリに挿入して活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報モラルを意識しながら、必要に応じて写真や画像を活用することができる。 		
Classroom	 Classroom	<ul style="list-style-type: none"> Classroomに参加することができる。 先生が配布した資料を見ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題を提出することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ストリームに意見を書いたり資料を添付したりすることができる。 				
ジャムボード	 Jamboard	<ul style="list-style-type: none"> 図や文字を移動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 手書きで絵や文字を書くことができる。 写真を挿入することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 付箋に自分の意見を書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアやグループで作成した付箋を動かし、考えをまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 付箋の内容を読み、分類、比較、関連づけながら整理することができる。 		
フォーム	 Forms	<ul style="list-style-type: none"> 選択式の質問に答えることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 記述式の質問に答えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単なアンケートやクイズを作ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケートを作成する際、目的に応じた回答方法を選ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> フォームで集計したデータを目的に応じて活用することができる。 	
スライド	 スライド			<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを指定された場所に書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 写真や動画・画像を貼り付けて自分の考えを表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じた資料を活用してまとめ、自分の考えを発表できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 複数名で協働して資料を作成し発表することができる。 	
スプレッドシート	 スプレッ...					<ul style="list-style-type: none"> 教師が指定した場所に半角で英数字を入力できる。 決められた場所に文字を入力できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて表を作ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 作った表からグラフを作ることができる。
ドキュメント	 ドキュメ...					<ul style="list-style-type: none"> 写真や図形を入れて考えをまとめることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 作文や意見文を書くことができる。
Meet	 Meet	<ul style="list-style-type: none"> Meetを起動できる。 	<ul style="list-style-type: none"> Meetの「音声」「ビデオ」のON/OFFが切り替えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 状況に合わせて挙手したり、チャットを使って先生とやり取りできる。 	<ul style="list-style-type: none"> GWS(グーグルワークスペース)の機能を同時に使って授業を受けることができる。 			